

令和7年中標津町議会3月定例会 一般質問要旨

通告	質問議員	質問事項・質問要旨	答弁を 求める者
1	6番 阿部 隆弘 あべ たかひろ	1 各ハラスメント対策の的確な対応を	町 長
		令和5年6月1日現在で実施した各地方公共団体における各種ハラスメント対策の取組状況調査結果と、今後のカスタマーハラスメントを含め、パワーハラスメント、セクシャルハラスメント、妊婦、出産、育児又は介護に関するハラスメント対策の考えは？	
2	11番 江口 智子 えぐち ともこ	誰もが投票できる環境作りを	選管 委員長
		1) 投票支援カードの導入について	
		高齢者や障害を抱えた方の投票しやすい環境整備として、全国的に投票支援カードやコミュニケーションボードの導入が進められている。最近ではダウンロード式に加え、投票はがきと一体型の投票支援カードもあるようだが当町の投票支援の考えは？	
		2) 移動期日前投票所の実施について	選管 委員長
		昨年は東武サウスヒルズと計根別支所で期日前投票が実施された。運転免許証返納者が増えるなか、近隣町ではワゴン車等を活用し長距離移動が困難な方でも投票できるように高齢者福祉施設前でも期日前投票を実施している。当町でも誰もが投票できる環境作りを推進すべきでは？	
3	15番 松村 康弘 まつむら やすひろ	1 地域活性化起業人派遣事業に対応する町民側の組織構築を	町 長
		昨年12月定例会補正予算で採択された事業だが、地域課題の解決を目的とした地域おこし企業の設立など、その成果に強く期待する。一方で派遣事業の終了後も継続して地域で創業支援を実現していくため、町民側に創業にシフトした人材による組織構築をすべきでは？	
		2 入湯税に対応する歳出のありようの検討を	町 長
		地方が歳出の目的を定めて地方に付加できる目的税としての入湯税だが、今日まで一般財源に組み入れられ観光振興などの目的に特化した歳出手法は取られていない。令和5年度決算で入湯税はついに1000万円を超えた。目的税の本旨に立ち返る時期ではないか？	
4	3番 栗栖 陽介 くりす ようすけ	1 新規の狩猟免許取得者に支援を	町 長
		本町ハンターの年齢構成は70～80代が17名に対し、20～30代が3名しかいないことに危機感を感じている。現在、道内で新規狩猟免許等の取得に補助がある自治体は46市町村にのぼる。新規でハンターになる費用は約74万円を要する。若い次世代のハンターを増やすため支援するべきでは？	
5	5番 平山 光生 ひらやま ひろみ	1 子育て世帯の負担軽減に向けたリユーススペースの設置を	町 長
		近年の物価高騰により、子育て世帯の家計負担も増加している状況で、特に1歳までに必要な衣類や育児用品は期間限定となるものも多く、購入しても季節が合わず使用できないこともある。子育て支援センターなどの公共施設に不要になったベビー用品や衣類を譲り合えるリユーススペースを設置しては？	
6	8番 佐久間ふみ子 さくま ふみこ	1 高齢者の見守り体制の強化を	町 長
		一人暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯が増加する中、地域での見守り体制の強化が求められている。特に孤立や急病の際の対応、日常的な安否確認の仕組みづくりが重要である。本町の高齢者見守り体制の現状と課題をどのように認識しているのか？地域との連携強化による持続可能な見守りネットワークの構築が必要では？	